

山本乾燥情報

冠水、倒伏について



倒伏

のろのろ台風による線状降水帯の発生や大雨の影響で、圃場で稲の倒伏がみられます。倒伏した稲の場合、水分がばらつきますので乾燥作業には十分ご注意ください。



冠水

冠水した場合は、土砂やごみ等により収穫作業に支障が出る場合が想定されます。事前に圃場を確認し堆積物等の確認・撤去など余裕を持った作業を行ってください。

冠水したり倒伏した場合は収穫時の刈り分けや別乾燥を行い全体の品質低下を防止してください。

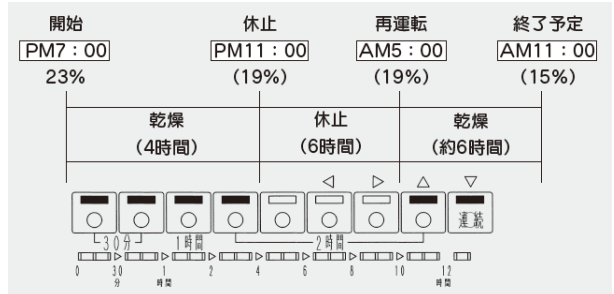
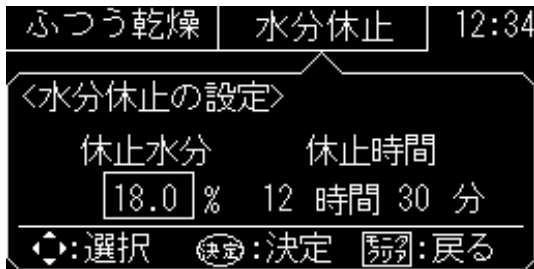
冠水したり倒伏した圃場や、水分の異なる二つの圃場から収穫した籾を一つの乾燥機に入れると、水分のばらつきが発生します。水分のばらつきを抑えるにはゆっくり乾燥・休止(調質)乾燥が有効です。

《対処法》 休止(調質)乾燥

休止乾燥とは

17~18%の水分まで通常の乾燥を行い、その後、休止(5時間以上が理想)することで水分のばらつきを少なくします。

運転開始 → 5時間休止 → 乾燥終了



乾燥機では籾の水分のばらつきがある場合、「**休止乾燥**」をお勧めします。操作盤で、水分休止設定やプログラムタイマ設定を行ってください。※型式により設定方法が異なりますので、取扱説明書を参照ください。